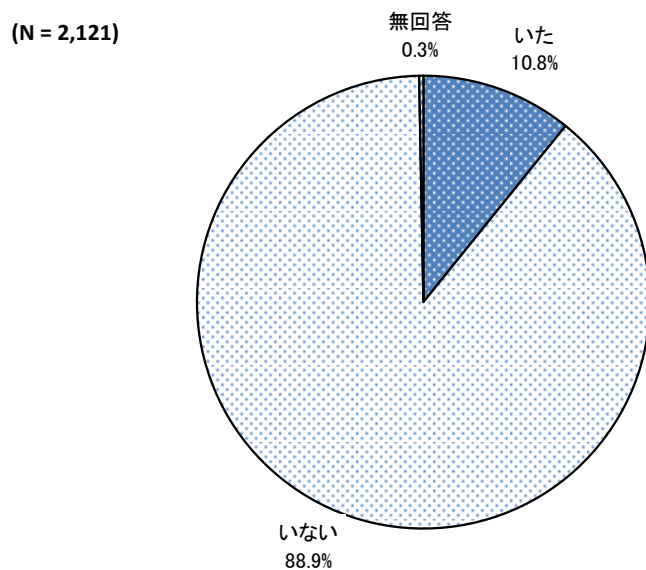


第2章 調査結果

1. 一次調査(調査票A)

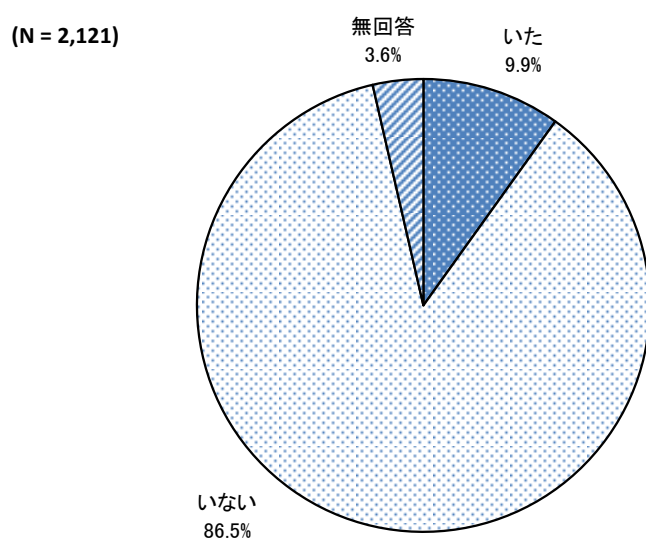
Q1-①平成30年9月1日から令和元年8月31日までの1年間に、貴機関・事業所・施設に受診・入院または、サービス利用・入所していた人の中に、18歳以上65歳未満の認知症の人はいましたか？

「いた」は10.8% (229施設)、「いない」は88.9% (1,886施設)であった。



Q1-②平成30年9月1日から令和元年8月31日までの1年間に、貴機関・事業所・施設に受診・入院またはサービス利用・入所していた人の中に、65歳以上で、認知症の発症が65歳未満の人はいましたか？

「いた」は9.9% (210施設)、「いない」は86.5% (1,835施設)であった。



Q2 上記で「いた」と回答された場合、①、②別に、人数(枠上)、性別、年齢、生年月日、発症年月(分かる範囲で)、また、貴機関・事業所・施設での主な処遇(利用形態)について、ご回答ください。

② 18歳以上65歳未満の認知症の人

②65歳以上で若年発症(65歳未満で発症)の認知症の人

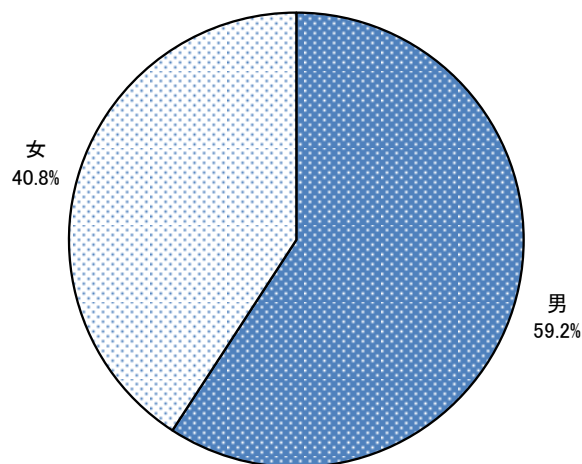
①18歳以上65歳未満の認知症の人

Q1で「いた」と回答した229施設の人数の合計は426人であった。

性別でみると、回答のあった316人のうち「男」は59.2%、「女」は40.8%であった。

【性別】

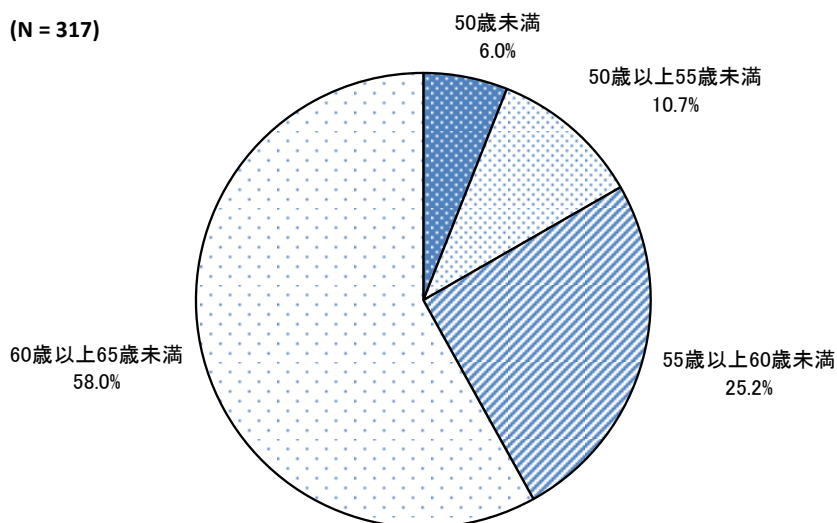
(N = 316)



年齢別でみると、回答のあった317人のうち「60歳以上65歳未満」が58.0%と最も高く、次いで「55歳以上60歳未満」が25.2%、「50歳以上55歳未満」が10.7%となっている。

【年齢】

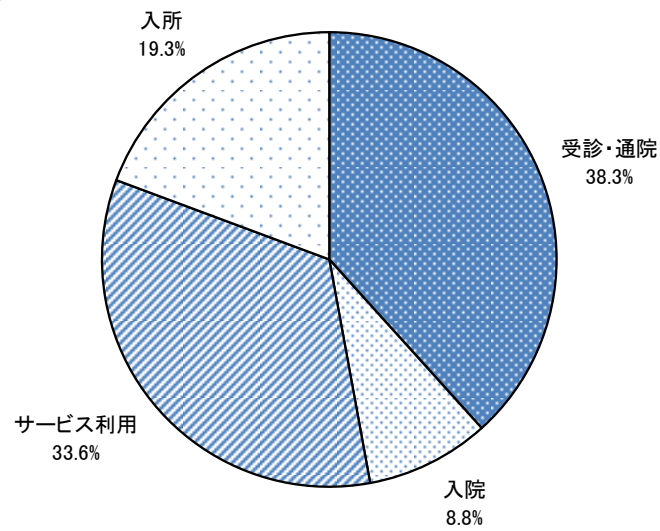
(N = 317)



主な処遇（利用形態）別でみると、回答のあった 295 人のうち「**受診・通院**」が 38.3%と最も高く、次いで「**サービス利用**」が 33.6%、「**入所**」が 19.3%となっている。

【主な処遇】

(N = 295)



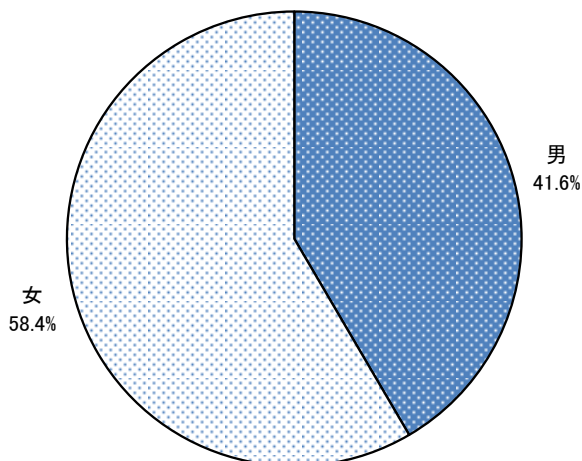
②65 歳以上で若年発症 (65 歳未満で発症) の認知症の人

Q1 で「いた」と回答した 210 施設の人数の合計は 379 人であった。

性別でみると、回答のあった 166 人のうち「男」は 41.6%、「女」は 58.4%であった。

【性別】

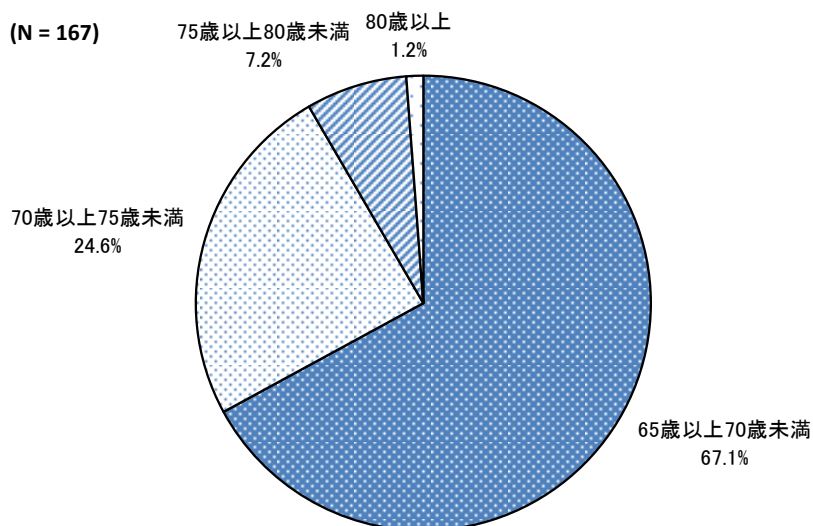
(N = 166)



年齢別でみると、回答のあった 167 人のうち「65 歳以上 70 歳未満」が 67.1%と最も高く、次いで「70 歳以上 75 歳未満」が 24.6%、「75 歳以上 80 歳未満」が 7.2%となっている。

【年齢】

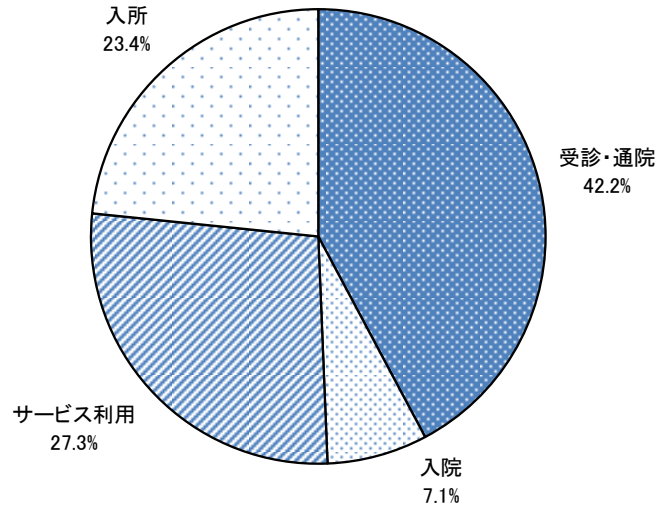
(N = 167)



主な処遇（利用形態）別で見ると、回答のあった154人のうち「**受診・通院**」が42.2%と最も高く、次いで「**サービス利用**」が27.3%、「**入所**」が23.4%となっている。

【主な処遇】

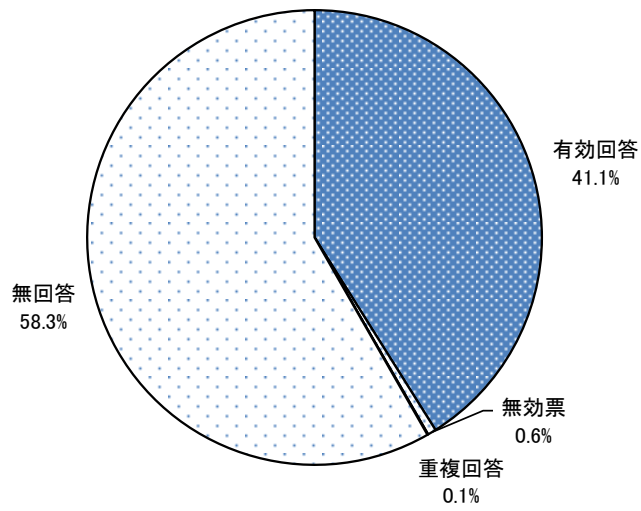
(N = 154)



【一次調査のまとめ】

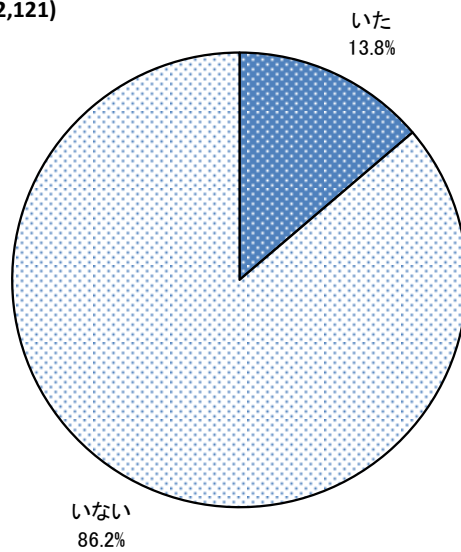
①調査対象施設

(N = 5,164)



②有効回答数のうち、対象者がいた施設数

(N = 2,121)



③若年性認知症の方の年齢

(N = 805)

